

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生涯学習文化財課
 担当名: 指定文化財保護担当
 内線: 6987

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B79	史跡埼玉古墳群保存活用事業			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	埼玉古墳群整備費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	文化財保護法、文化財保護条例		宣言項目				
					分野施策	061349 文化芸術の振興			
1 事業概要				5 事業説明					
<p>本県を代表する文化遺産である史跡埼玉古墳群について特別史跡昇格や世界遺産登録を視野に入れつつ、恒久的な保存を図り、県民に適切に公開するために必要な整備を行う。</p> <p>(1) 発掘調査費 △576千円 (2) 丸墓山古墳整備費 △3,061千円 (3) 鉄砲山古墳整備費 △360千円 総括報告書印刷製本費の入札差金発生や丸墓山安全対策工事内容の見直し等による減</p>				<p>(1) 事業内容 平成18年度に策定した「埼玉古墳群保存整備基本計画」に基づき、埼玉古墳群を継続的に整備する。</p> <p>ア 保存整備協議会運営費 謝金等 394千円 イ 発掘調査費 作業員639人日、賃金・消耗品・基準点測量・重機賃借料等 8,056千円 ウ 埼玉古墳群現況調査費 二子山古墳等の火山灰(テフラ)分析 260千円 エ 丸墓山古墳整備費 安全対策工事一式 9,870千円 オ 鉄砲山古墳整備費 保存活用計画策定 2,484千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 保存整備協議会運営費 調査及び整備方針について指導・助言を得るため学識経験者11名による会議を年2回開催。 イ 発掘調査費 二子山古墳において整備に係る基礎的なデータ収集の発掘調査を行う。埼玉古墳群の国特別史跡昇格のための総括報告書の印刷製本及び配布を行う。 ウ 埼玉古墳群現況調査費 二子山古墳等の時期を特定するために火山灰(テフラ)を分析する。 エ 丸墓山古墳整備費 古墳に登るための階段が老朽化し安全性が確保できないため、改修工事を実施する。 オ 鉄砲山古墳整備費 保存活用計画の策定を行う。</p> <p>(3) 事業効果 県名発祥の地であり本県を代表する文化財・文化遺産である埼玉古墳群の経年変化による崩壊を防ぎ、将来にわたり保存を図るとともに、本県のシンボルとして広く県民等に公開と活用を図ることができる。</p> <p>(4) その他 二子山古墳の調査を継続するとともに、埼玉古墳群の保存活用計画の策定に着手する。また埼玉古墳群の特別史跡昇格に必要な総括報告書の印刷製本を行い、特別史跡昇格の手続きに着手する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 総括報告書印刷製本費の入札差金や丸墓山安全対策工事内容の見直し等による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 特別交付税 重要文化財等の保存等に要する経費(埋蔵文化財の発掘調査等にかかる経費)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.1人=29,450千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,997	国庫支出金	△1,999	県債	△1,000			△998	17,067
現計額	21,064		10,532		4,000			6,532	